



牧野 孝史
Makino Takashi
蒲生 大貴
Gamou Hiroki
園田 稔
Sonoda Minoru

木村 繁基
Kimura Shigeki
鄭 洪旻
Jeong Hongmin
品川 弘樹
Shinagawa Hiroki

下野 敬輔
Shimono Keisuke
遠藤 史貴
Endo Fumitaka
柴本 翔平
Shibamoto Syohei

六平 豊
Musaka Yutaka
鈴木 奨之
Suzuki Syono
松尾 圭哉
Matsuo Keiya

垣本 周
Kakimoto Amane
宮崎 千展
Miyazaki Chihiro
三浦 大和
Miura Yamato

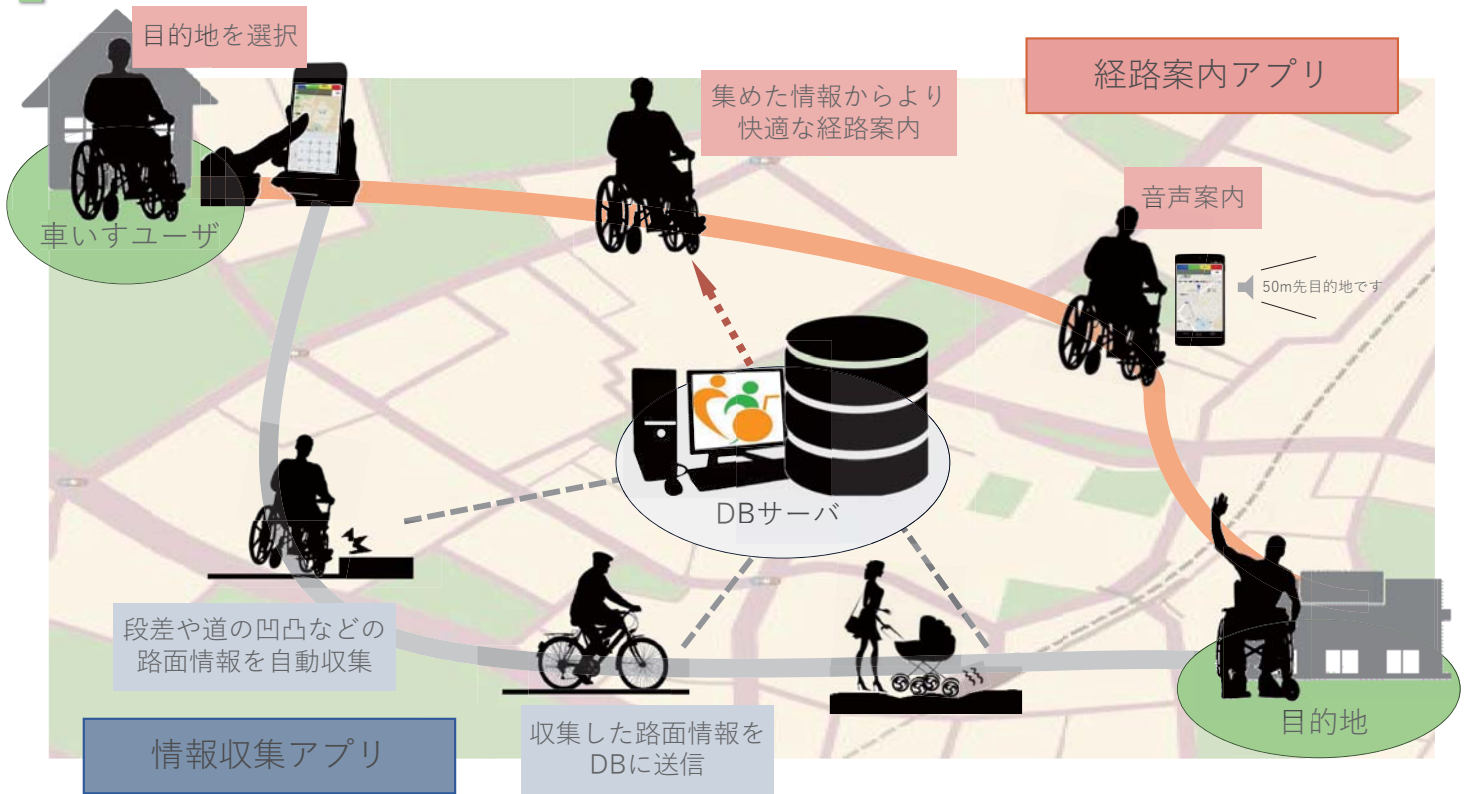
概要

苫小牧高専の松尾ら(2013)が行った調査によると、バリアフリー化が進む現在でも車いすユーザにとって、外出時の不安要素は多い。そこで、外出中に車いすユーザが感じる不安を解消し安心を与えることが、本サービスの目的である。よって、不安要素である段差や道の凹凸を避けた経路案内アプリと、路面情報を収集する情報収集アプリにより、車いすユーザのための快適な経路案内サービスを提供する。

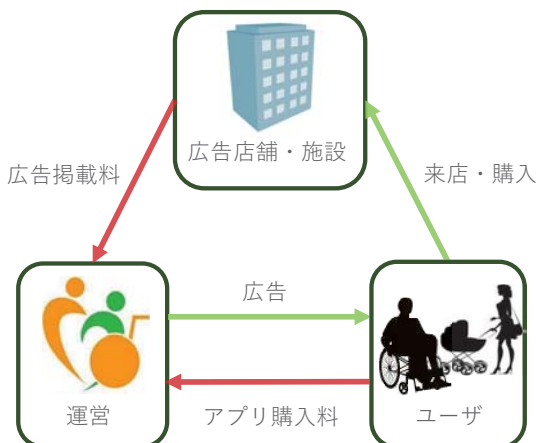
類似サービスの課題

ココシルバリアフリーナビ	国土交通省が公開している道路の段差や勾配などの情報を用いた車いすユーザのための経路案内サービスである。しかし、情報は3年以上前のものもあり、一部都市しか公開されていない。
Wheelmap	車いすユーザの利用可能な施設を検索できる地図サービスである。しかし、ユーザーレポートによって利用可能かどうかを判断しているため、ユーザーの入力の手間がかかる。

サービスの全体像



ビジネスモデル



収益モデル

- ・情報収集アプリの購入料
 - －情報収集アプリとしてではなく、情報収集をバックグラウンドで行う、様々な乗り物のユーザに合ったアプリを150円で販売する。
- ・経路案内アプリの地図上に広告掲載
 - －車いすユーザでも利用できる施設や車いす関連商品を販売している企業と提携し、施設・店舗情報を広告として地図上に掲載することで利益を得る。
- ・両アプリにバナー広告掲載
 - －それぞれのユーザに合った広告を掲載し、広告主から掲載料を得る。